

# イノチの波 宙に音と生まれ 形無き楽を天空に放つ

## 言の葉、音と楽 Life-ing Pulsation Vol. 11

地に和し合しカタチを得 新しきイノチの波を創成す by Maggiemokuren

昔、父から何度となく言われた言葉「ハイは一回で良い」を、折に触れ思い出します。声を荒げる事の無かった父が、叱るといふ風でもなく「ハイは一回」と、やはり穏やかに言うのを繰り返して聞いた、遠い記憶。「はいはい」と生返事に終始しがちな私たち姉妹をさりげなく諫め、「本当の言葉」を口にする事の大切さを伝えたかったのだと。無学な父の精一杯の照れ隠し、柔和な姿と、少しばかりひょうきんな口調のままに「ハイは一回」はすり込まれ、今も、聞こえています。

### グレーエリア

「今日、ホントウの言葉を幾つ話したろう？」と、ずいぶん以前にも書きました。この季節になると、一際大きく、鮮やかに、このフレーズが心に響き始めます。数えれば嫌になつてしまふ程、心底からの声を発していない、聞いていない事にも気が付きます。少しだけ嘘が混じった曖昧模糊、優柔不断、居心地の良さそうなるグレーエリアに安住している自分を見つめ、相対するヒトを見て、ハッとすする。「ハイは一回」を思い出し、ため息混じりに……エイッと頷張つてみる……五月です。

### 巧妙な手口

いい加減な事を言いたい訳でもないし、ましてウソを付くつもりは毛頭ないのですが、その場を凌ぐだけの言葉が堂々巡りを始め、何かしら大切な事を遠ざけてしまふ「経路」に陥つてしまふ事があります。この「経路」に従つていけば、ほとんど自身の心を確かめることなく言葉を繋ぐ事ができる。ヒトと話をしている間に大きな力を発揮する、便利な「言葉のマニアルサーキット」は、「安全・無害・当たり障りのない」言葉を次々と生み出してくれます。一度、マニアルサーキットに足を踏み入れてしまふと、なかなか抜け出せず、うっかり乗り過してしまふ付かない。出口を逃したまま、高速道路に乗り続けていくような、落ち着かない気分です。今さら目的地を変える訳にもいかないし、度胸もない、辺りの景色を眺める余裕も無い。ナイナイ尽くしの下り坂、何ともスッキリしない心持ちに入

り込んでしまします。文化的傾向です。

傷つけられても傷つけない……傷つくから傷つけない……融通無碍でありながら、真つ直ぐな意志が感じられ、爽やかな気分になります。凄いなあと。白黒は付けないけれど白黒を十二分に知った上での毅然とした「あいまいさ」がヒトを魅了するのでしょうか。

「言葉のマニアルサーキット」とは、相手を傷つけない為のコミュニケーション術に見せかけた、実際は、自分を守るためにヒトが編み出した、巧妙な手口ではないか？と疑っています。自己の本音をオープンにする事を怖れるあまり、自身の心を亡きモノにしてしまふ迷路ではないかと。自己喪失という慢性疾患、心のメタボリックシンドロームを引き起こす可能性のある、とても危険なルートかも知れません。

「はいはいはい」言葉は、何時もヒトと共在りますから、誰が、どんな風に口にしたかによって大きく意味が変わります。ヒトの話し言葉には、その人の歴史がそのまま居座つてしまふようです。想像も付かないような歴史を持つていられるであろう、極めつきの「ハイハイ」を、以前に聞いた事があります。正確には、「はいはいはい」という、何とも言いようのない抑揚なのですが、あつたかく、おおらかで、軽やかな父も、参ったと言ふしかなない程に素直な、飾りのない言い回し、シアワセを満載した「はいはいはい」でした。

父もその方も、既に鬼籍に入ってしまったのですが「ハイは一回」と「はいはいはい」の二つの言葉が、同時に、言葉の本質、ヒトの心を伝えてくれます。

# 東京

## 「其の日」暮らし

### 関東「平野」の「坂道」

「坂道」と聞いて思い浮かぶのは、山のある風景。そこから続く坂道……。山裾の街で育った私にはそんなイメージがありました。

私の住んでいる街は「関東平野」で、山なんてひとつもないのに坂がとて多いのです。引越してきた当初は色々探検するために、自転車が大活躍。移動手段として、そんな私にとって、道の傾斜はとても重要です。なぜなら坂道を見ると、「降らたら負け」とばかりに、ムキになって坂道に挑戦してしまふからなのです。

「何に負けるかはわかりませんが」何となく降りずにがんばって漕がないという気分になってしまふのです。無駄に体力を消耗するだけ……とわかつているのに。

図書館、区役所、保健所、お気に入りの商店街などはすべて坂の向こうか坂の頂上にあります。どのルートでも坂は避けて通れない。「そんな坂の一つや二つ、大げさなことを！」と思うのですが、どれもこれも「立派な坂」ばかり。頂上の町並みが見えないほどに傾斜の「立派」な坂です。



弥生坂



切通し坂

(写真提供「東京23区の坂道」)

### 御坊町の「今日もイタズラがなげろぞー」



右から、ユウコ、ガオウ、チーコです

### 福山まり創作人形教室

## ふくすけ倶楽部

できあがった人形はあなたの分身

日本には節句を祝うときや子供の健やかな成長を願って人形を作り、飾る習慣がありました。優しい心情を込めて作られるその人形に命が宿り、あたかも生きているかのような表情を見せてくれます。人形があるだけでその場の空気が和らぐ、そんな気持ちをお持ちの方もいらつしやうと思いつくりたいもの。そのイメージする形を石粗粘土でつくり、カンターナイフで整えて乾かした後、古布を着せたり、絵の具でポイントすれば完成です。表情豊かに人形の目をつぶらせたり、関節を動かすなどの仕組みも先生のアドバイスでお受けすれば、初心者の方でも大丈夫です。



大阪府守口市京阪本通5の4 エクラントビル501  
TEL 080-1493-1212  
創作人形教室 第二火・水・木 第四火・金・土 曜日 10時30分～16時  
入会金10,500円 月謝8,400円 (月1回)  
癒しのちりめん細工教室 第三火・第四火・第四日曜日 11時～16時  
入会金10,500円 月謝5,250円  
※御堂筋新聞読者特典(5, 6, 7月) 両教室とも御堂筋新聞を見てご入会の場合入会金オフ

### よかべこへりこへりこ10周年

## 「上方学」の講義

### よか文化評論家 福井孝一さん

「上方学」の創始者、福井孝一さんが、デビュー10周年を記念して5月16日(土)、17日(日)の2日間、10回連続講演会「上方学10講」を大阪府中央公会堂で開催されます。

福井さんは、大学卒業後、大手都銀で働いていました。ある日に観た上方舞の舞台に衝撃を受け、翌日に辞表を提出し、世界初の「上



- 日程 会場 2009年5月16日(土) 大阪府中央公会堂 大会議室
- 5月17日(日) 同上
- ①「上方文化と私」
- ②「悲劇の英雄 源義経」
- ③「奇想天外な伝説話 美少年しんと丸と四天王寺」
- ④「文藝における蜘蛛」
- ⑤「蕪りたつ橋」
- ⑥「小野小町は舞う」
- ⑦「陰陽師安倍晴明の虚と実」
- ⑧「日本人の心に響く鐘」
- ⑨「上方の言葉」
- ⑩「上方の言葉」
- 開演時間 両日とも ①午前11時～午後12時 ②午後2時～3時 ③午後3時20分～4時20分
- ④午後6時30分～7時30分 ⑤午後7時50分～8時50分
- 受講料 1回あたり お一人様2,000円(税込) 各回入替制・当日精算
- お問合せ オフィス 福井 072-723-3746 http://www.ta.biglobe.ne.jp/~genstet99/